平成 24 年 10 月 18 日

各位

株 式 会 社 い い 生 活
代表取締役社長 CEO　中村　清高
（コード番号：3796　東証マザーズ）
問合わせ先：
代表取締役副社長 CFO　塩川　拓行
電 話 番 号 ： 0 3 （ 5 4 2 3 ） 7 8 2 0

平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 10 日に公表致しました平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）及び通期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．連結業績予想数値の修正

(1)平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売　上　高（百万円）	営 業 利 益（百万円）	経 常 利 益（百万円）	四半期純利益（百万円）	1 株当たり当期純利益
					円　銭
前回発表予想（A）	949	△19	△19	△19	△275.37
今回修正予想（B）	907	△42	△41	△43	△631.60
増減額（B－A）	△41	△23	△22	△24	
増減率（%）	△4.3%	－	－	－	
(ご参考)前期第 2 四半期実績(平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	1,170	167	168	76	1,124.15

(2)平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売　上　高（百万円）	営 業 利 益（百万円）	経 常 利 益（百万円）	当期純利益（百万円）	1 株当たり当期純利益
					円　銭
前回発表予想（A）	2,050	80	80	40	579.73
今回修正予想（B）	1,840	△53	△51	△66	△956.55
増減額（B－A）	△210	△133	△131	△106	
増減率（%）	△10.2%	－	－	－	
(ご参考)前期実績(平成 24 年 3 月期)	2,118	218	225	89	1,314.09

２．平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）及び通期連結業績予想の修正理由

①売上高

クラウドソリューション事業のクラウドサービス（拡販サービス）の売上高が、持続的な成長を続けているものの、当初想定した増収ペースには届かず、第 2 四半期（累計）及び通期共に当初予想を下回る見通しとなったことにより、売上全体についても当初予想を下回る見通しとなりました。

クラウドサービス（拡販サービス）の売上高が当初予想を下回る見通しとなった要因としては、今期 4 月より順次リリースを開始した「ＥＳいい物件Ｏｎｅ」の一部オプション機能（賃貸管理機能オプション）の開発に時間を要しており、そのリリースが当初計画していた今期中から来期のリリースとなる見込みとなり、当サービスの本格的な営業活動及び売上機会の実現の時期が先延ばしとなったことであります。

「ＥＳいい物件Ｏｎｅ」の開発・リリース計画としては、当サービスが多機能に渡ることを考慮し、先ずは主要機能をリリースした後、順次、各種機能をリリースしていくことを予定しておりました。「ＥＳいい物件Ｏｎｅ賃貸」及び「ＥＳいい物件Ｏｎｅ売買」については、今期 4 月のリリース以降、順次機能追加リリースも進み、新規のお客様の申込み及び既存サービスからの移行も進みつつありますが、特に中規模以上の賃貸管理会社を中心に「ＥＳいい物件Ｏｎｅ賃貸」＋賃貸管理機能オプションの新規申込並びに既存の管理賃貸システムをご利用いただいているお客様の移行については、お客様にお待ちいただいている状態となっており、当期に実現見込みであった

売上機会を来期以降に先送りする結果となりました。賃貸管理機能オプションについては、来期第１四半期中のリリースを予定しており、新規・移行含めてお待ちいただいているお客様のニーズにお応えし、お客様のビジネス拡大に貢献すると共に、来期へ先送りとなった売上機会を漏らさず実現し、当社事業の成長も加速させてまいる所存であります。

なお、クラウドサービス（拡販サービス）の売上高は、当初予想に対しては下回る見通しとなりましたが、前年との比較においては、既存サービスが順調に推移していることもあり、第２四半期（累計）で15.1%増加、通期で12.5%増加となる見込みであります。

②利益

営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益につきましては、前述した売上高の修正予想の影響がある一方で、費用全般において、第２四半期（累計）はコスト管理の徹底、更なる業務効率化を推進してきた結果、当初予想よりも抑えることができ、下期においても継続的に費用抑制していく予定であります（売上原価と販売管理費を合わせた総費用は、通期1,970百万円の当初予想に対し、今期着地を1,893百万円に予想を修正）。

また、当第２四半期に、当初2013年３月末に予定していた本社オフィスの一部（ヤフー入稿センター利用分）解約を前倒して2012年10月末で解約することを決定したことにより、不動産賃貸借契約に係る現状回復費用の残額（資産除去債務履行差額）を当第２四半期に特別損失として計上する予定であります。一方で、前倒して解約となったことにより、当該不動産賃貸借契約に係る2012年11月以降の賃借料分につきましては、月額約250万円程度削減できる見込みとなりました。

以上の結果として、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益につきましては、前述した売上高の修正予想の影響から、第２四半期（累計）及び通期共に、当初予想を下回る見込みとなりました。

今後につきましては、「ＥＳいい物件Ｏｎｅ」の賃貸管理機能オプションを早期にリリースできるよう開発に注力し、新サービスにご期待いただき、お待ちいただいているお客様に、なるべく早くご利用いただけるよう万全のサービス体制を準備してまいります。当社の業績につきましては、来期へ先送りとなった売上機会を来期中に確実に実現し、売上高の増加に繋げていきたいと考えております。

「ＥＳいい物件Ｏｎｅ」は、当社既存の拡販サービスの各サービス及び各種オプションの機能を強化し、それらをワンパッケージ化した不動産会社の基本業務全域をカバーする他に類のないサービスの総称であります。お客様にとっては、多額の初期投資を必要とせず、クラウドサービスとして随時機能をアップデートされる機能をご利用いただける「ＥＳいい物件Ｏｎｅ」は、成長を目指す不動産会社様の業務ニーズに充分にお応えできるものと確信しております。当社としては、当サービスの新規顧客の獲得に加え、既存サービスをご利用いただいているお客様もより機能が充実した新サービスに順次移行していただく予定であり、当サービスは当社の今後の業績への貢献度を十分に期待できるものと考えております。

参考：平成25年３月期におけるクラウドソリューション事業の売上高に係る通期業績予想の内訳については、以下のとおりであります。

品目詳細	修正予想 平成25年３月期 （百万円）	当初予想 平成25年３月期 （百万円）	対当初 予想差額 （百万円）	前年実績 平成24年３月期 （百万円）	対前年 増減率 （%）
クラウドサービス	1,707	1,895	△188	1,569	8.7
拡販サービス	1,532	1,726	△194	1,361	12.5
初期	47	66	△19	30	54.2
月次	1,485	1,660	△175	1,331	11.5
拡販サービス以外	175	169	6	208	△15.9
ネットワーク・スリューション	35	35	－	39	△10.3
アドヴァンスト・クラウドサービス	98	120	△22	509	△80.8
広告関連サービス	60	51	9	68	△12.5
受託開発	38	69	△31	66	△43.0
ヤフー入稿センター	－	－	－	374	△100.0
合計	1,840	2,050	△210	2,118	△13.1
（ヤフー入稿センターを除いた合計）	1,840	2,050	△210	1,744	5.5

（注）セグメント間の内部取引消去前の金額で記載しております。

上記に記載した内容は、現在集計中の資料に基づいて作成したものであり、後日開示する業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

３．配当予想について

配当予想につきましては、前回発表の１株につき期末配当1,100円の予想に変更ございません。

当社は、当該期の業績及びフリー・キャッシュフローの水準を十分に勘案した上で、利益配当の継続的実施並びに配当額の継続的成長の実現に向けて取り組むことを株主の皆様への利益還元の基本方針としております。前述しました当期業績予想の修正はしておりますが、当社のコア・ビジネスである「クラウドサービス」の今後の成長から継続的に配当額の成長を目指したいと考えております。

以上